

## ●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

### ——回路とシステム小特集

(和文論文誌 A) 論文募集——

回路とシステム小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集 (平成 26 年 8 月号) として、「回路とシステム小特集」を企画しました。電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティシステムと信号処理サブソサイエティ [委員長牧野光則, 回路とシステム研究専門委員会 (委員長山路隆文), VLSI 設計技術研究専門委員会 (委員長池田 誠), 信号処理研究専門委員会 (委員長澤田 宏), システム数理と応用研究専門委員会 (委員長中村祐一) で構成] 並びに非線形理論とその応用サブソサイエティ [委員長中島康治, 非線形問題研究専門委員会 (委員長池口 徹) で構成] は, 第二種研究会として, 平成 25 年 7 月, 回路とシステムワークショップを開催致しました。本ワークショップは, 毎年 1 回開催され, 26 回目を迎えるに至りました。本ワークショップは関連研究者, 技術者の中で定着するようになり, 多くの質の高い優秀な論文が発表され, 活発な討論が行われております。本ワークショップで発表された質の高い優秀な論文を中心として, 広く多方面から関連の最新研究成果を集積することにより, 当該分野の更なる発展に貢献することを目的としています。下記対象分野に関するオリジナルの論文を募集しますので, 奮って御投稿下さい。

#### 1. 対象分野

次に挙げる分野及びそれに関連する分野:

- ・非線形問題 (非線形回路理論, 非線形振動論, ニューロダイナミクス, 学習, カオスと分岐, フラクタル, 非線形最適化, 精度保証付き数値計算, 非線形時系列解析, 複雑系ネットワーク)
- ・回路の数値解析 (回路の数値解析理論, 回路/デバイス/配線シミュレーション, 回路/デバイス/配線モデル, シミュレーション応用最適化技術, 電磁界シミュレーション, シグナル/パワーインテグリティ解析, 電源系解析, 回路縮約, ばらつき考慮シミュレーション, 並列・分散シミュレーション, 信頼性シミュレーション (ESD, 雑音耐性, 経年劣化), 電力解析)
- ・アナログ回路 (イメージャ, センサ, MEMS, フィルタ, A-D/D-A, PLL/DLL, RF (ミキサ, VCO, LNA, PA), ミックストシグナル, 電源, 非線形回路, 高速インタフェース, 光通信回路, 無線通信回路 (WLAN, RFID, ミリ波, NFC), 無線電力伝送回路, アンプ, 低電圧・低消費電力回路, ヘルスケア, メディカルエレクトロニクス)
- ・デジタル信号処理 (基礎信号処理/フィルタ設計, 適応信号処理, 非線形信号処理, 音声・音響信号処理, 画像・映像信号処理, 通信用信号処理, システム実現技術, セキュリティ応用, 生体信号処理, 信号処理応用)
- ・VLSI 設計技術 (設計環境・ツール, 組込みシステム, リコンフィギュラブルシステム, マルチコア・メニーコア設計, NoC 設計, システムレベル設計, IP ベース設計, 動作合成・高位合成, 論理合成・検証, レイアウト設計・検証, アナログ CAD, タイミング解析, テスト設計, 低消費電力設計, 高信頼性設計, 耐雑音設計, DFM, リソグラフィ CAD)

論文特集原稿募集

- ・離散システム理論 (ソフトウェア仕様記述, 形式手法 (フォーマルメソッド), ペトリネットと離散事象システム, ハイブリッドダイナミカルシステム, グラフ・ネットワーク理論, 離散最適化, スケジューリング, アルゴリズム論, 並列・並行・分散処理, 分散協調システム, システムバイオロジー)

#### 2. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領, 査読基準は通常の投稿論文と同一とします。原則として, 論文は刷り上がり 8 ページ程度, レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理できないので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」 ([http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html)) を御覧下さい。本小特集では, 論文スタイルから著しく逸脱したもののやページ数を超過したものは, そのことを理由に採録しないことがあります。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。採録論文数が多い場合には, 一般論文として掲載される場合があります。投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなくてはなりません。採録された場合, 論文別刷を購入して頂くこととなりますので, あらかじめ御了承下さい。

#### 3. 論文投稿要領

投稿は原則, 電子投稿とします。

- (1) 投稿論文システム [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし, 平成 25 年 10 月 18 日 (金) までに御登録・投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを投稿して下さい。その際, 投稿論文の投稿先として「回路とシステム小特集」を選択して下さい。他の特集を選択しないように御注意下さい。
- (2) 登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書に必要事項を御記入の上, 平成 25 年 10 月 25 日 (金) までに, 下記宛て送付して下さい。送付方法は, 郵送, FAX, スキャンし PDF 化したもののメール添付, のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

#### 【送付先】

宮本俊幸  
〒565-0871 吹田市山田丘 2-1  
大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻  
TEL [06] 6879-7694, FAX [06] 6879-7263  
E-mail: miyamoto@eei.eng.osaka-u.ac.jp

#### 4. 小特集編集委員会

委員長 宮本俊幸 (阪大)  
幹事 増田士朗 (首都大東京)  
委員 青森 久 (中京大), 伊藤康一 (東北大), 植野洋介 (ソニー), 加藤博武 (ルネサスエレクトロニクス), 黒崎正行 (九工大), 小中英嗣 (名城大), 佐藤高史 (京大), 田中勇樹 (群馬大), 中田 充 (山口大), ニコデムスレディアン (東工大), 日野賢一 (日本ケイデンスデザインシステムズ社), 細川晃平 (NEC), 松原 聡 (富士通), 松本剛史 (東大)

——2013 IEICE ICT フォーラム関連 EU FP7 ICT  
研究開発プロジェクト活動における  
次世代ブロードバンドアクセス技術と  
アプリケーション関連技術小特集  
(英文論文誌 B) 論文募集——

2013 IEICE ICT フォーラム関連 EU FP7 ICT 研究開発  
プロジェクト活動における次世代ブロードバンドアクセ  
ス技術とアプリケーション関連技術小特集編集委員会

無線アクセスサービスの進展に伴い、新たな伝送技術、システ  
ム、ネットワークアーキテクチャ、更にはそれらの社会経済学的  
な関わりが研究されており、それらは、容易なスケラビリティ  
や信頼性の高いブロードバンドサービスといったユーザの要求の  
高まりに応えるものです。このような状況下で欧州委員会 (EC)  
は、「European Union's (EU's) Framework Programme」と呼  
ばれる一連の研究・技術開発プログラムの第七次プログラムとし  
て、ICT 関連の研究開発プロジェクトを助成するプログラム  
(FP7 ICT) を立ち上げ (期間: 2007~2013 年)、欧州を中心に  
日本を含む世界各国の機関が参画する多くのプロジェクトで活発  
な研究開発活動がなされています。このような中、本会欧州セク  
ションでは IEICE Information and Communication Technology  
Forum (IEICE ICT Forum) を 2013 年に開催する計画であり、  
上記 FP7 の最終年度にあたり多くの関連投稿が期待されます。

そこで本小特集 (2014 年 8 月号掲載) では、FP7 ICT 研究開  
発プロジェクト活動並びに同プロジェクトに関連する技術分野で  
得られた研究成果を扱った論文を広く募集します。特に IEICE  
ICT Forum で発表される内容を発展させた論文を歓迎しますが、  
それらに限定するものではありません。皆様の積極的な御投稿を  
お願いします。

### 1. 対象分野

欧州連合 FP7 ICT 研究開発プロジェクト並びに同プロジェク  
トに関連する技術分野の研究成果で、特に下記の技術分野

- ・情報・通信理論及びアルゴリズム
- ・4G または 4G 以降のセルラ無線ネットワーク、連携無線  
ネットワーク、コグニティブ&リコンフィギュラブル無線  
ネットワーク、及びその関連技術
- ・新技術の社会経済学的側面、法整備と通信行政・政策
- ・次世代ホームアクセス技術とネットワーク (「ラスト 1 マイ  
ル」としての光アクセス・無線アクセス技術の融合、伝搬モ  
デル・伝搬計測、分散監視・管理技術、ソーシャルネット  
ワーキング、machine-to-machine 通信)
- ・上記技術に関する性能評価、実験テストベッド及びブラット  
ホーム

### 2. 論文執筆の取扱い

通常の英文論文誌と同一とします。原則として刷り上がり 8  
ページを標準とします (レターの投稿は受け付けておりません)。  
標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御  
注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.  
ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) を御覧下さい。なお、査  
読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿  
下さい。

手順 1 : [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)

から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論  
文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も  
投稿する必要があります。なお、登録時には必ず "Jour  
nal/Section" で EU's FP7 ICT R & D Project Activities  
on Future Broadband Technologies in Conjunction with  
Main Topics of 2013 IEICE ICT Forum を選択して下さ  
い。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2 : "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" 文書  
と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" 文  
書を、論文投稿締切日である 2013 年 10 月 31 日 (木)  
までに下記送付先へ電子メール添付、FAX のいずれか  
の方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届か  
ない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2013 年 10 月 31 日 (木) 必着

### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

太郎丸 真

福岡大学工学部電子情報工学科

TEL [092] 871-6631 (内線 6383), FAX [092] 865-6031

E-mail : taromaru@fukuoka-u.ac.jp

### 6. 小特集編集委員会

委員長 Haris Gacanin (Alcatel-Lucent Bell)

副委員長 安達文幸 (東北大)

幹事 太郎丸真 (福岡大), Mariusz Głabowski (Poznan  
University of Technology), 奥村幸彦 (NTT ドコモ)

委員 阿多信吾 (阪市大), Idelfonso Tafur Monroy (Tech  
nical University of Denmark), Dejan Vukobratovic  
(University of Novi Sad), Tomaz Javornik (Jozef  
Stefan Institute), Cedimir Stefanovic (University of  
Novi Sad), Eleftherios Kofidis (University of Pi  
raeus), Rodrigo Santamaria (University of Salaman  
ca), Johan Bauwelinck (Gent University), Cesar  
Briso (Universidad Politecnica de Madrid), Anasta  
sios Zafeiropoulos (Greek Research & Technology  
Network), Sabine Wittervrongel (Gent University),  
Gregorio Martinez (University of Murcia), Ruben  
Fuentes (University Computense de Madrid)

### 7. 付記

\* 締切日を厳守して下さい。

\* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷  
50 部含む) が必要となります。

\* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でな  
ければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りでは  
ありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投  
稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので  
御注意下さい。

## ——将来の光ネットワークに向けた 最新の光エレクトロニクスと通信技術特集

(英文論文誌 B, C) 論文募集——

将来の光ネットワークに向けた  
最新の光エレクトロニクスと通信技術特集編集委員会

第18回光エレクトロニクスと通信国際会議 (the 18th Optoelectronics and Communications Conference (OECC 2013) が、広範囲における光エレクトロニクス分野での技術交流・討論の機会を提供する場として、Conference on Laser and Electro-Optics Pacific Rim (CLEO-PR) 及び、Photonics in Switching (PS) との3会議での共催で、平成25年7月に京都で開催されました。

OECC2013で発表された最新研究成果を体系化し、論文として投稿頂くことによって、本分野での研究開発の現状と将来展望を明らかにすること、また、光エレクトロニクスと光通信システムのより有機的な発展を図るためを目的として、本特集(平成26年7月号掲載)を電子情報通信学会英文論文誌B及びC分冊の合同で企画致します。

### 1. 対象分野

光通信システム、及び光デバイス技術に関する以下の分野を対象とします。

- Access Network (Category OP1)
- Core Network (Category OP2)
- Transmission Systems and Their Subsystems (Category OP3)
- Optical Fibers, Cables and Fiber Devices (Category OP4)
- Optical Switching Systems and Related Technologies (Category OP5)
- Semiconductor Active Optical Devices (Category J1)
- Optical Passive Devices and Modules (Category J2)
- Silicon Photonics Platform (Category J3)
- Optical Signal Processing, Display, Storage (Category J4)

通信システム関連の論文 (Category OP1-OP5) を B 分冊、デバイス関連 (Category J1-J4) の論文を C 分冊に掲載。

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (B分冊: [http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html), C分冊: [http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

### 3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-OB] (Transactions on Communications) 若しくは [Special-OC] (Transactions on Electronics) Opto-electronics and Communications for Future Optical Network を選択して下さい。[Regular-EB] 若しくは [Regular-EC] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

### 4. 論文投稿締切日 平成25年10月31日(木) 必着

### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

B分冊 (Transactions on Communications)

青木泰彦

富士通研究所ネットワークシステム研究所フォトニクス研究部  
〒211-8588 川崎市中原区上小田中4-1-1

TEL [044] 754-2641, FAX [044] 754-2640

E-mail: [eb-oecc2013@labs.fujitsu.com](mailto:eb-oecc2013@labs.fujitsu.com)

C分冊 (Transactions on Electronics)

浜本貴一

九州大学大学院総合理工学研究院

〒816-8580 春日市春日公園6-1 D棟321室

TEL [092] 583-7604, FAX [092] 583-7898

E-mail: [hamamoto@ asem.kyushu-u.ac.jp](mailto:hamamoto@ asem.kyushu-u.ac.jp)

### 6. 小特集編集委員会

B分冊

委員長 尾中 寛 (富士通), 幹事 青木泰彦 (富士通研)

委員 吉本直人 (NTT), 荒木壮一郎 (NEC), 森田逸郎 (KDDI 研), 並木 周 (産総研), 植之原裕行 (東工大), 原井洋明 (NICT), 佐野明秀 (NTT)

C分冊

委員長 柏川秋彦 (古河電工), 幹事 浜本貴一 (九大)

委員 宮本智之 (東工大), 井上靖之 (NTT), 山田浩治 (NTT), 石井啓之 (NTT)

### 7. 付記

\* 締切日を厳守して下さい。

\* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

\* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——クラウド・サービスコンピューティング特集 (和文論文誌 D) 論文募集——

クラウド・サービスコンピューティング  
特集編集委員会

クラウドコンピューティングの発展により、計算資源がインターネット上に集約され大規模化しつつあります。また、このようなスケールアウトを可能とする計算環境を前提に、多くのソフトウェアや大規模データがインターネット上に集積され、スマートフォンなどのモバイル端末を介して、社会の至る所で必要なときに必要な分だけサービスとして利用されています。このようにハードウェアやソフトウェアの所有から利用へとシフトしているクラウド時代では、組織の枠を越えて、ネットワークから計算資源、データ、その上で動作するアプリケーション、そして、ビジ

ネスプロセスまで統合したサービスの構築手法が求められています。こうした期待に応えるには、ネットワークサービスや IaaS, PaaS, SaaS といったレイヤごとの構築、運用技術だけでなく、レイヤ内の水平型のサービス連携から、レイヤを横断した垂直型のサービス連携まで幅広いサービス構築技術が重要となります。

このような幅広いレイヤを横断的に議論する必要性から、サービスコンピューティング研究専門委員会では、これらの研究分野を集めた最新の研究成果を広く会員に伝えることを目的として、和文論文誌 D (平成 26 年 7 月号) にて特集を企画致します。本特集では、クラウドコンピューティングを用いたサービス構築のための基礎技術、及びそれらの応用技術までの幅広い分野からの論文を募集します。幅広い分野からの多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

## 1. 対象分野

クラウドコンピューティング

- ・クラウド (SaaS, PaaS, IaaS) の運用
- ・クラウドのパフォーマンス
- ・インタクラウド

サービスコンピューティング

- ・SOA
- ・Web サービス
- ・サービス連携
- ・サービス発見
- ・サービス選択
- ・サービス配備・運用・管理
- ・サービスのセキュリティ・プライバシー

ビジネスプロセス

- ・BPM
- ・ビジネスプロセスの検証・最適化
- ・サービスエコノミクス

クラウド・サービスの応用

- ・クラウドソーシング
- ・Web API・マッシュアップ
- ・Linked Data サービス
- ・Semantic Web サービス
- ・モバイルサービス
- ・ストリームサービス
- ・クラウドに基づく応用システム (教育, 科学, 省エネ, ヘルステックなど)

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ以内、レターは刷り上がり 2 ページ以内とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注

意下さい。詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日間) が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

## 3. 投稿方法

投稿は、本会電子投稿システム [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) による電子投稿のみと致します。印刷物及びメールでの投稿は受け付けません。なお、上記 Web での登録の際、“ソサイエティ/特集選択”は“[特集 CS] クラウド・サービスコンピューティング特集”を選択して下さい。“[一般 JD] 情報・システム”や他の特集を選択されませんよう御注意下さい。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

### 【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-d1@ieice.org  
※郵送時は、封筒に「クラウド・サービスコンピューティング 特集」を朱記して下さい。

## 4. 投稿締切日 平成 25 年 10 月 21 日 (月) 厳守

## 5. 特集編集委員会

委員長 村上陽平 (京大)  
副委員長 石川冬樹 (NII)  
幹事 田仲正弘 (NICT), 鈴木伸崇 (筑波大)  
委員 井垣 宏 (阪大), 川村隆浩 (東芝), 鈴木豊太郎 (東工大), 須永 宏 (阪工大), 立堀道昭 (日本 IBM), 中村匡秀 (神戸大), Incheon Paik (会津大), 細野繁 (NEC)

## 6. 問合せ先

村上陽平 (京大)  
TEL [075] 753-5396 E-mail : yohei@i.kyoto-u.ac.jp

## 7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- \* 投稿に際して、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 (<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)